

学会長あいさつ

第68回日本医学検査学会 in 下関 維新 Innovation ～確かな知性と技術の躍進～



第68回 日本医学検査学会
学会長 渋田 秀美
(山口県立総合医療センター 中央検査部)

第68回日本医学検査学会の開催を担当いたします「一般社団法人山口県臨床検査技師会」を代表しご挨拶申し上げます。

68回という長い歴史をもつ本学会が山口県で開催されるのは初めての事であり、さらに新たな元号の下で行われる初回の学会を、まさに明治維新発祥の地である山口県にて開催できることに運命めいたものを感じています。

本学会のメインテーマは「維新 Innovation」、サブテーマは「確かな知性と技術の躍進」としました。昨今、臨床検査技師の職務は医療が多様化するこの時代に合わせて広がりを見せ、さらに医療法の一部改正に伴い高い検査精度を確保することが求められています。時代の流れを的確につかみ、新たな時代を作り上げた「明治維新」のごとく、これまで培ってきた知性と技術を糧にした「新たな臨床検査の時代の幕開け」を感じていただける学会となるよう準備を進めてきました。

学会内容は公開講演としてフジテレビ系「ホンマでっか!? TV」でおなじみの池田清彦先生（早稲田大学名誉教授）に「がんばらない生き方」と題し、人生を楽しく生きるための考え方について御講演いただきます。文化講演は山口県が誇る銘酒「獺祭」の蔵元「旭酒造」会長の桜井博志さんに「ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～」と題して、お客様重視の経営により、近年、著しく成長を遂げた「旭酒造」についての御講演をいただきます。その他、招待講演3題、教育講演9題、シンポジウム13テーマ、一般演題594演題、各種フォーラム、精度管理報告会、日韓シンポジウム、ランチョンセミナー20社、スイーツセミナー5社など多彩な企画を準備しました。企業展示は84社が「海峡メッセ下関」内の2会場で機器・試薬展示を行い、山口県の物産品が当たるスタンプラリーを準備して皆さんのお越しをお待ちしています。

歴史の大きな舞台となってきた下関市には源平合戦の地である壇ノ浦や明治維新に関する多くの史跡や建造物があります。学会の合間に歴史探訪はいかがでしょう。観光スポットも多く存在し、対岸に渡って門司港レトロ観光、少し足を延ばして映画のロケ地で知られる角島大橋、アメリカCNN社が日本の最も美しい場所31選に選んだ元乃隅神社など数えればきりがありません。また、学会場の1つである「海峡メッセ下関」は眼下に関門海峡を臨み、武蔵と小次郎の決闘で知られる巖流島を一望することもできます。きっと皆さんの学会で疲れた身体を癒してくれることでしょう。

結びとなりますが、本学会の開催に多大なるご協力をいただきました協賛企業の皆様、関係各位に深く感謝するとともに、多数の皆様の御参加を山口県臨床検査技師会会員一同、心よりお待ちしております。